

# 生活・介護支援サポーター養成事業

## ・目的

地域の高齢者の個別の生活ニーズに応じる仕組みを安定的・継続的に構築するため、市民の主体性に基づき運営される新たな市民参加サービス等の担い手として生活・介護支援サポーターを養成し、地域で高齢者の生活を支えるシステムを構築する。

## ・実施主体

区市町村

## ・補助内容

国(10/10)

## ・事業内容

生活・介護支援サポーター養成研修の実施

市民向けにおおむね20時間程度(講義及び実習)の研修を行い、一定の福祉、介護に関する知識や技術をもった高齢者への生活・介護支援サービスを行うための担い手を養成する。

高齢者の生活を支えるシステムの構築

生活・介護支援サービスの実践につながるように、修了者に対しても継続的な支援を実施する。

## ・具体的事業の例

困りごと相談

独居高齢者等生活上の不便の相談解決支援。

民間サービスの活用支援

高齢者になじみの薄い宅配サービス利用などの支援

防犯・防災への注意喚起

警察・消防と連携し、振り込み詐欺、悪徳訪問販売など日常生活を営む上でのリスクマネジメントを支援。

たすけあい活動の創設

サポーターがチームを組織し、調理・買い物援助、住宅・庭の維持管理、通院・薬局への同行等を生活圏域内で実施。

ふれあいサロン、いきいき喫茶の運営

公民館、空き教室、空き店舗等の活用を図りながら、福祉講座、健康講座、世代間交流等を実施。